

# 平成26年度 事業報告

1. 平成26年度の当財団の基本財産運用収入は、0.67%の運用益となりました。

## 2. 啓発事業

### (1) 一般部門

①当財団のメイン事業である「とやま環境賞」の第19回表彰式を、平成27年3月7日（土）午前10時より富山テレビ本社ホールで開催し、下記の7団体を表彰しました。

#### 「最優秀活動賞」

○黒部川扇状地研究所

永年にわたり黒部川扇状地の調査研究や地域社会・学校等の環境学習への支援に努め自然と調和した地域社会の構築・振興に大きく貢献している。

#### 「優秀活動賞」

○氷見市女良公民館

虻が島の清掃や動植物の観察活動に取り組み、島の環境保全活動に大いに貢献している。

○千保川をきれいにする会

永年にわたり千保川の環境整備に取り組み、水環境の保全に大いに貢献している。

#### 「ジュニア活動賞」

○舟橋村立舟橋小学校 4年生

舟橋村に生息する絶滅危惧種のトミヨの発見をきっかけに、川の生き物の生育環境を守る活動を村全体で取り組み、環境学習の実践に大きく貢献している。

○射水市立大門小学校

絶滅危惧種のトミヨやバイカモ等の水生生物の飼育・観察を通じて水環境保全に取り組み、環境学習の実践に大きく貢献している。

○高岡市立志貴野中学校 自然科学部

永年にわたり高岡古城公園の動植物や水環境の調査・研究に取り組み、豊かな水環境保全の研究活動に大きく貢献している。

○富山県立桜井高等学校 生活環境科

永年にわたり石田浜のゴミ調査や清掃活動に取り組み、環境美化の実践に大きく貢献している。

この表彰式の様子は富山テレビ放送で放送されました。また、それぞれの活動の様子も受賞者紹介の企画ニュースとして、「BBTスーパーニュースチャンネル8」で一週間にわたり放送されました。

②次世代を担う子供達の河川への知識・理解を深めることを目的に、大規模な砂防工事が行われてい立山カルデラでの自然環境を紹介する番組「立山カルデラ も

うひとつの素顔」を30分番組として制作し、3月27日（金）富山テレビ放送で放送しました。

③当財団と富山テレビ放送で「とやま水を旅する」を5分番組として毎週2回、年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。

④当財団と国土交通省立山砂防事務所の主催による第18回「SABO体験楽校」を8月5日（火）～8月7日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生10名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

## （2）情報部門

水や環境情報、団体などが行っている環境活動を富山テレビ放送の協力を得てニュースなどで随時紹介しました。

## 3. 普及事業

### （1）普及広報活動

①国土交通省 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所と共催で「川の絵画コンクール」を開催し、10月22日（水）に富山河川国道事務所表彰式を行いました。県内の小学校193校から4,374点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。

また、優秀作品を取り込んだ「川の絵画カレンダー」を参加者及び県内の小学校に配布しました。

②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」をトヨタ白川郷自然学校の協力を得て実施しました。8月23日（土）、24日（日）の2日間、16組32名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。この様子は8月29日（金）の「BBTスーパーニュースチャンネル8」で紹介されました。

③富山県ひとつづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2014」を実施しました。

身近な水生生物や植物の飼育・観察を通じて水環境の大切さを学ぶ活動を助成し、その研究活動を紹介する「チャレンジ学校水族館」を3月28日（土）に60分番組として、また富山の重要な地形や地質に触れて大地の永い歴史を体験学習する「ジオパーク探検隊」を12月31日（水）に10分番組として富山テレビ放送で放送しました。併せて、両番組を収録したDVDを収めた記録集を県内の小学校及び関係機関に配布しました。

④「里山の植物観察会～親子で学ぶ身近な薬草～」を6月15日（日）八尾町杉平で実施。7組15名の親子が参加し、自生している植物の中から40種類を超える薬草を観察しました。

### （2）催事・研究助成

①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。

②日本黒部学会に賛助金を助成しました。

③とやま環境財団「身近な水辺へ行ってみよう！」事業に助成しました。

④射水市 海・川の森づくり事業に助成しました。

⑤日本地球化学会市民講演会に賛助金を助成しました。